

◆天草市学校規模適正化審議会委員 (敬称略)

役職	氏名	職名など
会長	石橋 敏郎	熊本県立大学教授
副会長	龍石 昭好	本渡地区代表
委員	土佐 彰利	元小学校校長
〃	原田 明典	牛深地区代表
〃	森 晃	有明地区代表
〃	牧田 久光	御所浦地区代表
〃	藤川 政文	倉岳地区代表
〃	前田 誠	栖本地区代表
〃	本多 文子	新和地区代表
〃	高辻 知子	五和地区代表
〃	瀬川 一孝	天草地区代表
〃	松村文美代	河浦地区代表
〃	益崎洋一郎	本渡南小学校PTA会長
〃	尾田 住一	御所浦北小学校PTA会長
〃	梅田 昭二	栖本小学校PTA会長
〃	益田 茂	大多尾小学校PTA会長
〃	山田 義勝	高浜小学校PTA会長
〃	大久保嘉和	新合小学校PTA会長
〃	永野セツ子	本渡南幼稚園園長
〃	村端 祐之	倉岳小学校校長
〃	杉山 夏代	二江小学校教諭
〃	金子 晴久	本渡東中学校校長
〃	金澤 博子	牛深中学校教諭
〃	井上 弘之	一般公募(本渡町)
〃	角中 知子	一般公募(有明町)



▲6月30日に開催された
第1回学校規模適正化審議会

えられます。
このようなことから、子どもたちにとってより良い教育条件や教育環境などの整備に向けた、小・中学校などの適正規模・適正配置について検討するため6月30日、学識経験者や市内10地区の代表者、保護者(PTA)代表など25人で構成する「天草市学校規模適正化審議会」を設置しました(委員は左表参照)。同日、第1回の会議が市庁舎別館(中村町)で開かれ、会長に石橋敏郎さん、副会長に龍石

昭好さんが選出された後、市教育委員会が「本市の学校規模適正化」について諮問しました。同審議会では今後5回の会議を開き、児童・生徒数の将来推計や学校が持つ地域的意義を考慮しながら、①過小規模・小規模校の課題②学校運営と指導体制③通学距離などの視点から、小・中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方や具体的方策などについて検討され、来年3月までに答申される予定です。なお、市教育委員会ではこの答申を踏まえ、小・中学校の統合や改修の方針となる「学校規模適正化・適正配置等推進計画」(仮称)を平成21年9月をめどに策定することとしています。

※学校規模適正化審議会の会議は、市民の皆さんに公開されており、本庁(別館)・学校教育課での簡単な手続きで自由に傍聴できます(第2回の会議は10月2日(土)に開催)。

※同審議会の会議日程など詳細は、本庁(別館)・学校教育課教育企画係 ☎11111 内線2507へお尋ねください。

◆学校規模別の小・中学校と学級数

種別	平成20年度		平成26年度	
	小学校			
過小規模校	志柿④、下浦第一⑤、金焼③、杵宇土⑤、宮地岳③、天附⑤、二浦③、魚貫⑤、赤崎④、御所浦北⑤、大多尾④、鬼池④、城河原⑤、福連木④、下田北④、下田南③、高浜⑤、富津⑤、一町田第一分校②、新合④、宮野河内④		志柿③、下浦第一④、金焼③、杵宇土④、宮地岳③、天附④、二浦③、魚貫④、深海④、島子⑤、御所浦北③、大多尾③、鬼池③、城河原④、手野④、福連木③、下田北③、下田南②、高浜④、大江⑤、富津③、一町田第一分校②、新合④、宮野河内④	
小規模校	亀場⑩、楠浦⑥、本町⑥、佐伊津⑨、瀬戸⑥、久玉⑥、深海⑥、浦和⑥、大楠⑥、島子⑥、御所浦⑥、倉岳⑥、栖本⑥、新和⑥、御領⑥、手野⑥、二江⑥、大江⑥、一町田⑥		楠浦⑥、本町⑥、佐伊津⑥、瀬戸⑥、牛深①①、久玉⑥、浦和⑥、大楠⑥、御所浦⑥、倉岳⑥、栖本⑥、新和⑥、御領⑥、二江⑥、一町田⑥	
適正規模校	牛深⑬		亀場⑫	
大規模校	本渡南⑱、本渡北⑳		本渡南⑱、本渡北⑳	
過大規模校	なし		なし	
中学校				
過小規模校	佐伊津③、本町③、御所浦③、御所浦北③、倉岳③、栖本③、新和⑤、五和東③、天草④		本渡東⑤、牛深東④、御所浦③、御所浦北③、倉岳③、栖本③、新和③、五和東③、五和西⑤、天草③、河浦③	
小規模校	本渡東⑥、稜南⑧、牛深①①、牛深東⑥、有明⑥、五和西⑥、河浦⑥		稜南⑦、牛深⑦、有明⑥	
適正規模校	本渡⑰		なし	
大規模校	なし		本渡⑳	
過大規模校	なし		なし	

※○内は学級数(特別支援学級を除く)。
※平成26年度は予測です。
※一町田第一分校は、1～3年生までが通学。
※赤崎小学校は、統合により平成21年4月から浦和小学校となります。
※本渡・佐伊津・本町中学校は、統合により平成22年4月から本渡中学校となります。

学校規模適正化
審議会を設置

児童・生徒数の減少や、これに伴う複式学級を持つ小学校や小規模校の増加などにより、今後、教育効果や学校活力の低下が懸念されます。
また、老朽校舎の改築や耐震化の問題などもあり、こうした課題への対策には多額の経費がかかることが見込まれるため、将来にわたる適正な学校規模(学校数)の見直しを立てて対応することが不可欠であると考

過小規模校や小規模校は、児童・生徒数が少ないため指導の徹底が図りやすいなどの利点がありますが、その反面、多くの友だちと切磋琢磨しながら多様なものの見方・考え方をはぐくむことや、目的に応じた学習形態を取り入れることが難しいなど、多くの課題があります。

模校で、19校が6～11学級の小規模校。また、中学校は全17校中、9校が過小規模校、7校が小規模校という状況です(上表参照)。

教育委員2人が就任!

教育委員6人のうち、2人が欠員となっていました。市議会の同意を経て、松中美恵子さん(河浦町宮野河内)と江浦むつえさん(下浦町)が7月1日に就任しました。任期は、平成24年6月30日までの4年間で。

これに伴い、7月1日に教育委員会臨時会を開き、教育委員長に松下美奈子さん(船之尾町)を、教育委員長職務代理者に濱崎献作さん(有明町大浦)を選びました。



▶下段右から松下美奈子委員長、野田嗣郎委員、江浦むつえ委員、上段右から濱崎献作委員長職務代理者、岡部紀夫教育長、松中美恵子委員。